

迦葉山三世天山見亮大和尚開創 五百年の古寺 利根沼田横道三十三観音霊場 十八番札所

石尊山 観音寺

〒378-0074 群馬県沼田市下発知町332

T E L . 0 2 7 8 - 2 3 - 9 4 1 0

E-mail : info@kan-nonji.com

U R L : <http://www.kan-nonji.com>

— 第 28 号 —

2026年1月1日 発行

かん

Kannon-ji Temple



ごあいさつ

住職 いかるぎ こうけん
五十木 晃 健

観音寺の住職として皆様にご挨拶できますことを、心よりありがたく思っております。多くのご縁に支えられた一年であったことを、あらためて深く噛みしめております。

まず、令和七年は子どもたちや地域の皆様と笑顔を分かち合う機会が一段と増えた、賑やかで温かい一年となりました。五月五日（月・祝）には劇団アフリカ座の皆様をお迎えし、「こどもむけ演劇公演会」を開催いたしました。境内に響いた子どもたちの歓声は、今でも心に残る印象深いものでした。さらに二十五日（日）には「ラフターヨガと観音寺笑顔のマルシェ」を行い、地域の方々とともに、明るいひとときを過ごしてい

ただけたことを嬉しく思っております。

また、十月十九日（日）には、サンドアート発表会「らくがきしてら〜」を開催しました。昨年に続き子供たちが熱心に作品づくりに取り組み、その成果を堂々と披露する姿は実に頼もしいものでした。当日は「ジュンマキ堂とニューパラダイスチンドン」様をお招きし、境内が華やかな音色と笑顔に満ちる賑やかな催しとなりました。

十一月七日（金）には池田小学校・池田中学校にてチンドン特別公演が行われ、子どもたちの喜ぶ姿を見ることができたことも大きな励みとなりました。

七月二十七日（日）に檀信徒の皆様とともに旅行に出かけ、

屋形船に乗って語らい合う時間もございました。季節の移ろいを感じながら笑顔を交わしたひとときは、私にとっても忘れがたい思い出です。こうしたともに時間を過ごし、観音寺を中心にご縁が広がっていくことは、何よりの喜びであります。

これら数々の行事が滞りなく開催できましたのは、日頃より、境内を彩る花を添えてくださる皆様、庫裡や本堂を整えてくださる方々。そして常に温かく支えてくださる檀信徒の皆様のお力添えあってこそです。あらためて深く感謝申し上げます。

観音寺が「ふと立ち寄ったときに心が落ち着く場所」であり続けるよう、そして次世代を育む場としてよりいっそう賑わっていくよう、これからも精進してまいります。

皆様におかれましても、どうぞ健やかに一年をお過ごしくださいますようお願い申し上げます。

合掌



観音寺旅行

富澤 美波

今年の夏、私は素敵な体験をしてきました。まだ席が余っているので観音寺檀信徒の旅行に参加してみないかというお誘いをいただき、大学生活最後の夏休みを満喫するべく、池田の方々と東京へ行ってきました。いつも東京へ来るたび遠くから見ていたスカイツリーが、目の前に大きく聳え立っています。祖父と祖母の手を取り、生まれて初めて足を踏み入れました。その日はとても晴れていて、最高気温三七度。焼けるような暑さでしたが皆さん元気で、若者の私が置いていかれそうでした。展望台からは富士山がうつすらと見え、仲良く景色を眺める祖父母の後ろ姿を見て、肩車をしてもらったことや祖母の背中で育ったことを思い出し、写真を何枚も撮りました。

スカイツリーを満喫したあと、屋形船にも乗りました。ジリジリと肌を刺す暑さから逃

げるように揺れる船に乗り、置の上を歩きました。乾いた喉にビールを流し込み周りを見渡すと、太陽に照らされた川がキラキラと光り、そのひとときだけは東京が私たちだけのもののように感じました。海鮮が苦手な海老は強敵でしたが、天ぷらを一口食べると軽い衣とふかふかした身が広がり、胸が満たされました。食わず嫌いで避けてきた海老を初めて食べ、また一歩大人になったように感じました。船では思い出話に花が咲き、カラオケをし、大先輩方から沢山のアドバイスを頂き、不安が少し軽くなりました。

最後に築地の市場を回り、神社で大吉を引き、祖父にジュースを買ってもらい日陰で飲みました。祖父と二人だけで歩くのは久しぶりで、胡桃を割ったこと、かまくらを作ったこと、水遊びをしたこと、仕事の帰りの祖父に飛びついたこと、

反抗期にきつく当たったことなどを巡らせながら歩きました。

旅の途中、「若い子少なくてつまらない?」と心配されましたが、一秒たりともつまらないとは思いませんでした。誰もスマホを見ず、景色を眺めながら話し、初めましての人も輪の中に入っていく。現代の若者が失くしつつある力だと思えます。家族の思い出に浸り、感謝し、増えたシワに気づくと、自分は怠っていたと思いました。

この旅で、自分がどんなに大切にされて育ってきたか気づかされました。教科書に載っていることより大切なことを学べた気がします。二〇二五年の夏、私は素敵な体験ができました。明日も明後日も、何十年後もこの日のように、一人ではないこと、大切なものほど近くにあることを忘れず生きていきたいと思います。



花まつり特別イベント「こどもむけ演劇公演会」

五月五日（月・祝）、観音

寺では花まつり特別イベントとして、劇団アフリカ座の皆様をお迎えし「こどもむけ演劇公演会」を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、境内には朝から子どもたちの元気な声が響きわたりました。

上演作品は仏教法話をアレンジした「地獄極楽ブラックジョーカーズ」。午前と午後の二公演が行われ、迫力ある演技と笑いを誘う場面に、子どもたちだけでなく保護者の皆様からも大きな拍手が送られました。

さらに境内には、懐かしい木製ピンボールの出店や、淹れたてのコーヒーを楽しめるキッチンカーも並び、演劇とあわせて多くの来山者で賑わいました。

子どもたちが夢中になって遊ぶ姿や、訪れた方々が笑顔で交流する様子が見られ、終日あたたかな雰囲気包まれました。

た催しとなりました。

ご参加いただいた皆様をはじめ、企画段階から多大なるご協力をいただきました相澤宗利様に心より御礼申し上げます。

ます。

また、ご参加いただいた中学生の方から、嬉しい感想文をいただきました。ここに紹介いたします。

地獄極楽 ブラックジョーカーズの感想

宮内聖来

令和7年5月5日に、アフリカ座の皆さんの演劇「地獄極楽」を観音寺で見ました。いたずらつ子3人組ブラックジョーカーズが交通事故後に、えん魔様と出会い、地獄と極楽の違いを知り、思いやりのある心を学んだお話です。

私は地獄と極楽との違いは分かっているつもりでしたが、この演劇を見て、答え合わせが出来たように思いました。

極楽はみんな笑顔でお互いに思いやりがあつて、感謝の気持ちをつも持つ人達がいいます。しかし、地獄は自分のことばかり考えて、他人のことや社会のルールを無視する自分勝手な態度をとる人達がいいます。

善い行いをした人は極楽に行けて、自分勝手な行いをする人は地獄へ行ってしまうということです。

私は地獄に行きたくないです。だから、思いやりのある善い行いをこれからたくさんして極楽に行けるようにしたいと思います。また、中学生の私ですが、将来は困っている人の役に立てるような仕事をしたい、善い行いをたくさんしていきたいと思っています。

また、周りの友達だけでなくたくさんの子どもの達にこの話を伝えていけたら、社会は思いやりのある人でいっぱいになると思います。心に残るたくさんさんの学びをありがとうございます。



サンドアート発表会「らくがきしてらく」

十月十九日（日）、観音寺にてサンドアート発表会「らくがきしてらく」を開催いたしました。

サンドーアーティスト綾砂様のサンドアート教室を、女子高校生ボランティア四名をはじめ、相澤宗利様のご協力のもとこれまで続けて参りました。その集大成として、子どもたちが一人ひとりの作品を堂々と披露する特別な一日となりました。

当日は天候にも恵まれ、十月とは思えないほどの暖かさの中、境内には多くの子どもたちや保護者の皆様が訪れ、終日活気にあふれる賑わいとなりました。

また、キッチンカーやマルシェの出店も並び、訪れた方々がゆったりと交流を楽しむ姿が見られ、会場全体が和やかな空気に包まれていました。

さらに、ブレイクダンス教

室の子どもたちによる元気いっぱい発表や、「ジュンマキ堂とニューパラダイスチンドン」様をお迎えした華やかな公演も行われ、境内は笑顔と拍手に包まれる華やかな催しとなりました。

なお、サンドアート教室を支えてくださった女子高校生ボランティア四名の皆さんへは、後日あらためて感謝状をお渡しし、これまでの献身的なご協力に深く感謝の意を表しました。



ジュレマキ堂特別公演

十一月七日(金)、沼田市立池田小学校および池田中学校にて、「ジュンマキ堂とニューパラダイスチンドン(以下ジュンマキ堂)」観音寺外部(出張)の特別公演が行われました。

当日はジュンマキ堂の皆様が小学校の各教室に分かれて入り、児童たちと一緒に給食を楽しむ場面もあり、子どもたちは普段とは違う特別な時間に目を輝かせていました。

公演は体育館で行われ、児童・生徒のほか地域の方々も多く来場されました。軽快な音色と愉快なパフォーマン스에会場は終始温かな笑いに包まれ、訪れた皆さんが思い思いに公演を楽しみ、会場には和やかな一体感が広がっていました。

今回の公演は、子どもたちにとつて忘れがたい思い出となり、地域とのつながりを改めて感じられる貴重な機会となりました。



沼田市立池田中学校での公演

沼田市立池田小学校での公演

観音寺施食会

八月十六日(土)、観音寺本堂にて令和七年の「施食会」をお勤めいたしました。

ご参加いただいた皆様は、読経の響きに耳を傾けながら、これまでの歩みを振り返り、日々の暮らしへの感謝や先人への敬意をあらためて心に刻むひとときを過ごされました。

静かな空気に包まれた本堂には、参列者それぞれの祈りが穏やかに満ちる、意義深い法要となりました。



職場体験学習

十月八日(水)〜十日(金)、沼田市立池田中学校の生徒一名を、職場体験学習としてお受け入れました。

お寺の日々のお勤めを体験していただくことは、働くことの尊さや厳しさに触れていたただけの良い機会になったのではないかと思います。

お寺の仕事は、一般的な会社とは異なることばかりですが、生徒さんが何か一つでも心に残る学びを持ち帰ってくださいれば嬉しく思います。

境内の草むしり、本堂での坐禅、写経体験など、さまざまな内容にしっかりと取り組んでいただきました。



達磨大師像と

大権修利菩薩像を再修復

観音寺に江戸時代中期より伝わる「達磨大師像、大権修利菩薩像」の再修復が、このたび無事に完了いたしました。記録によると前回の修復は昭和九年九月に当時の住職「當寺二十七世吉田瑞龍大和尚」の代とのことでした。

長年にわたり多くの参拝者に親しまれてきたお像は、時の経過とともに傷みが見られるようになっていましたが、専門の手により丁寧に修復が施され、往時の姿を取り戻しました。今後とも大切に護り伝えてまいります。



境内草刈り

八月三日(日)、厳しい暑さのなかではありましたが、檀信徒の皆様と力を合わせて境内の草刈りを行いました。

大変な作業にもかかわらず手際よく進めてくださり、無事に作業を終えられたことに深く御礼申し上げます。

皆様のおかげで境内はすっきりと整い、お盆を迎える準備が整いました。ご協力に心より感謝いたします。



観音寺笑顔のマルシェ

五月二十五日(日)、「ラフターヨガと観音寺笑顔のマルシェ」を開催いたしました。

当日は爽やかな天候にも恵まれ、境内にはマルシェの出店やキッチンカーが並び、色とりどりの商品や香りが訪れた方々を迎えました。

ラフターヨガでは、参加者が笑顔で身体を動かしながら心身をほぐし、和やかな雰囲気広がりました。



池田小学校大書き初め

一月十四日(火)には沼田市立池田小学校で、また三十日(木)には薄根小学校で、それぞれ六年生の児童を対象に大書き初めを行いました。冬の澄んだ空気の中、体育館に広がる子どもたちの真剣な表情は、この季節ならではの心温まる光景です。児童たちは大きな筆を使い、思い思いの文字を書き上げ、互いに励まし合いながら和やかな時間を過ごしました。



▲沼田市立薄根小学校での大書き初め

◀沼田市立池田小学校での大書き初め

新年度役員のご紹介

総代長 阿部 三郎様(下発知)

総代 木樽 保夫様(戸 神)

総代 松井 敦夫様(下発知)

世話人 林 達弥様(下発知)

茂木 洋子様(下発知)

金子 陽一様(戸 神)

吉澤 民枝様(戸 神)

会計 金子民之介様(戸 神)

書記 小菅 優喜様(下発知)

令和七年まで総代としてお世話になりました角田二郎様、大変ありがとうございました。

お世話になりました

本堂庫裡清掃 竹内 茂美様

令和七年八月より芝崎梨呼様に寺務補佐としてご協力いただきましたことになりました。

お借り致しました

道路拡張土地 阿部 直次様

案内板・のぼり旗設置場所

松井 和幸様 小林 康子様

沼北自動車様 松井 康治様

樹木葬用道路用地 松井 里美様

奉納御礼

手水舎・本堂を飾り付け

毎年、鈴木杏奈様のご厚意により、手水舎や本堂の飾りつけをご奉仕いただいております。

令和七年も一年を通して、季節の移ろいを感じさせる可愛らしくも美しい装飾を施していただき、心より御礼申し上げます。おかげさまで、参拝にいらした皆さまからも「温かみを感じる」「思わず足を止めてしまう」といった嬉しいお声を多くいただいております。

日々のご尽力に深く感謝いたしますとともに、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



株式会社戸部組会長戸部美恵様より

観音像と灯籠等をご奉納いただきました

株式会社戸部組会長・戸部美恵様、副社長・戸部佐知子様より、観音寺へ「観音像と灯籠等」を多数ご奉納いただきました。長年地域に寄り添ってこられた戸部組様からのお心遣いに、深く感謝申し上げます。

今回のご奉納は、前会長であり、美恵様のご伴侶である故・戸部和明様が生前大切に収集されていた観音像と灯籠を、「良い形で受け継いでほしい」という想いとともに託してくださいましたものです。ご家族が故人の思いを胸に寄せてご奉納くださったことに、心より御礼申し上げます。

風化の見えるものもありますが、いずれも長い年月の祈りが宿る尊いお像です。境内に新たな趣と静けさを与え、訪れる方々の心を和ませてくれております。

今後大切に護持し、地域とともに環境の整備に努めてまいります。

